（4） さるなし（香粋）

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 果実軟腐病（症） *Botryosphaeria dothidea* *Diaporthe* sp. *Lasiodiplodia theobromae*	1.前年の果梗枝、せん定枝及び枯枝を整理し、処分する。 2.樹勢を適正に管理し、園内の通風、採光をよくする。 3.袋かけを行なう。 4.15℃以下で追熟すると、発生が少ない。 5.粗皮削りを行う。	8月中下旬	P7	アリエッティ水和剤
2 花腐細菌病 *Pseudomonas marginalis* pv. *Marginalis* *P.syringae* pv. *syringae* *P.viridiflava*	1.せん定時に中、短果枝を結果母枝とするように心がける。 2.樹勢を適正に保ち、窒素の遅効きを避ける。 3.園内の通風、採光をよくする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.新梢を中心に散布する。	新梢叢生期 がく裂開期	25 25	アグレプト水和剤 マイシン20水和剤
3 切り口及び傷口のゆ合促進		せん定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後	1	トップジンMペースト
4 ハマキムシ類	1.粗皮削りを行うとともに、卵塊をつぶす。 2.葉巻内の越冬幼虫を捕殺する。	発生初期	11A 11A 11A 11A 11A 11A 11A	トアロー水和剤CT ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 エスマルクDF クオークフロアブル ファイブスター顆粒水和剤 チューンアップ顆粒水和剤
5 ケムシ類		発生初期	11A 11A 11A	デルフィン顆粒水和剤 エスマルクDF ファイブスター顆粒水和剤
6 シャクトリムシ類		発生初期	11A	エスマルクDF
7 キイロマイコガ	1.6月上旬頃に袋かけを行う。	6月下旬 8月中下旬	3A	アディオン乳剤
8 カイガラムシ類	1.冬期に､ワラ､ブラシなどでカイガラムシをすり落とす。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.モスピラン顆粒水溶剤はクワシロカイガラムシに登録がある。	5月中下旬 7月中旬	4A	モスピラン顆粒水溶剤
		12月上中旬	UNM UNM	機械油乳剤95 トモノール
		2月上中旬	M2	石灰硫黄合剤
9 ハダニ類	1.下草、周辺雑草を処分する。 2.8月中旬に誘殺バンドを設置する。	2月上中旬	M2	石灰硫黄合剤
		発生初期	UNE	アカリタッチ乳剤